

平成16年(2004年)1月1日発行

12/20就任 柳澤章 新学長に聞く

先頭に立って大学を変えていく

実学に根ざした教育・研究を実現

本学では、神馬敬学長の任期満了に伴い、11月27日(木)、新学長に柳澤章教授(60歳)を選出した。任期は、平成15年12月20日(土)から平成19年12月19日(水)の4年間。柳澤学長は、昭和41年3月千葉大学工学部機械工学科卒業、同43年3月に同大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了、4月より本学・機械工学科に助手として勤務。平成3年に教授となった。本年度4月からは理事および教務部長を務めている。専門分野は生産技術に関する研究・開発ならびに複合材料に関する研究である。同氏の開発した画期的な金属繊維製造技術をもとに、本学とベルギーのスチールワイヤー製造会社であるベカルト社が共同出資し、平成9年にベキニット株を設立したが、この設立・運営にも寄与し、現在、取締役会長の任に当り、企画室では新学長の抱負などを取材した。

問 新学長のご就任おめでとうございます。おめでとうございます。まず、就任の抱負をお聞かせください。柳澤 私は、自ら先頭に立つて行動することで大学を変え、この激動の時代に対処していきたいと考えています。また、学内のさまざまな分野で業績のある先生方の力を結集し、本学の目的である「実学に根ざした教育・研究」を実現していきたいと思っています。



抱負を語る柳澤学長

経営者の役割も重要 さらに、これからの学長は、私学の経営者としての役割も非常に重要です。私は大学発ベンチャーを立ち上げた実績を踏まえ、経営の陣頭に立つて行動する学長として、これらの経験を教育・研究の場に活かして、本学の可能性を伸ばしていきたいと考えています。問 「行動する学長」として、これから4年の任期中に実行したいことをお聞かせください。

最も重要なのは教育 柳澤 「大学の任務は何か」ということで、理学・工学・文学・英語を自分が専門とするというよりも、融合科目という形で、教養・物

教職員の皆さんと工業教育の理想を追求していきたいと思っています。私が教務部長であった昨年11月には「低学年教育に対する予算措置」として、総額で1億円の予算を設けました。特色ある教育の明確化・充実、特に学部1、2年生のための教育の充実を図る措置です。今年2月末を目処に、各学科、あるいは複数学科やセンターとの共同計画などを募集し、理事会で審査して、実行に移していきます。

柳澤 私は、開学2年目からこの大学に在籍しており、その間、学生と共に研究活動をしてきました。教育というものは、授業で教えること以外に、先生が一生懸命に研究している、そういう姿を学生に見せて刺戟を与えるというのも大事な教育

だと思っています。ですから、良い教育のために、先生の研究は必須です。また、国のプロジェクトなど、先端的な研究を行うことは、学園の存続基盤としても必要です。そういう意味で、先生方には、積極的に研究に取り組んでほしいと考えています。

問 大学運営に関して、他どの様なことが大事だとお考えですか。柳澤 私は、この大学に足掛け35年在籍しております。お陰様で、教職員、学生諸君はもとより、後援会、工友会、産学交流会に所属する企業の方々や、研究に協力して下さっている企業の方々など、広く交際をいただいております。これからは、付属も含めて学園全体としての有機的な連携が大事です。大学の各部局間のスムーズな連携が取れる様、今迄も努力してきましたが、これからもさらに努力していきたいと思っています。

問 大学運営に関して、他どの様なことが大事だとお考えですか。柳澤 私は、この大学に足掛け35年在籍しております。お陰様で、教職員、学生諸君はもとより、後援会、工友会、産学交流会に所属する企業の方々や、研究に協力して下さっている企業の方々など、広く交際をいただいております。これからは、付属も含めて学園全体としての有機的な連携が大事です。大学の各部局間のスムーズな連携が取れる様、今迄も努力してきましたが、これからもさらに努力していきたいと思っています。

問 大学運営に関して、他どの様なことが大事だとお考えですか。柳澤 私は、この大学に足掛け35年在籍しております。お陰様で、教職員、学生諸君はもとより、後援会、工友会、産学交流会に所属する企業の方々や、研究に協力して下さっている企業の方々など、広く交際をいただいております。これからは、付属も含めて学園全体としての有機的な連携が大事です。大学の各部局間のスムーズな連携が取れる様、今迄も努力してきましたが、これからもさらに努力していきたいと思っています。

問 大学運営に関して、他どの様なことが大事だとお考えですか。柳澤 私は、この大学に足掛け35年在籍しております。お陰様で、教職員、学生諸君はもとより、後援会、工友会、産学交流会に所属する企業の方々や、研究に協力して下さっている企業の方々など、広く交際をいただいております。これからは、付属も含めて学園全体としての有機的な連携が大事です。大学の各部局間のスムーズな連携が取れる様、今迄も努力してきましたが、これからもさらに努力していきたいと思っています。

●年頭所感● 専門職大学院開設へ



理事長 大川 陽康

新年おめでとうございます。昨年は四年間の学長任期が満了する時機にあたり、新たな学長に機械工学科の柳澤章教授を迎えて、清らかな新年を迎えることになりました。新しい

「ものづくり」産業が盛んにならないと、我が国の経済全般も安定につながりません。この機会にこそ「ものづくり」は、これまで以上にわが大学が全学を挙げ

ました。これまで以上に、長所を伸ばさなければならぬと思っております。特に学生諸君にあつては、自らの与えられた学びの場を大切にすべきは勿論であり、学びの姿勢を、教えられる教育から学び取る教育に積極的に変えて行かなければなりません。

とここで、本学では新しい教育研究のひとつとして、東京都心の千代田区神田に新しいキャンパスを設置します。このキャンパスでは、社会人教育の一環として専門職大学院を開設する計画を、現在策定しております。

大学を卒業してから実社会で、五年以上十年程度の実務経験を有する技術者を対象として、工業経営に関する実務上のノウハウを教育し、技術社会におけるスキルアップ、あるいはキャリアアップ

日本工業大学 平成16年度入試日程

Table with columns: 出願期間, 試験日, 試験内容, 合格発表, 入学手続締切. Rows include: 一般入試, 社会人入試, 帰国子女入試, A0入試(第3期).

日本工業大学 大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程

Recruitment information for Graduate School of Engineering, including application periods and contact details for the Graduate School of Engineering.

魅力ある玩具の発想と開発

—リカちゃんからチョコQまで—

(財)日本玩具財団取締役 石井 幸雄



玩具を手に開発について語る古川幸雄氏

昨年11月21日、日本玩具文化財団評議員古川幸雄氏による、人と環境の時代を踏まえた「魅力ある玩具の開発」についての特別講演が3・325教室において満員の聴衆を集めて行なわれた。古川氏は、株式会社タカラの三代にわたる社長の片腕として活躍すると共に、玩具産業や地域産業団体とのまとめ役を果たし、現在は、玩具を通じた教育、普及活動をリードしているこの分野の第一人者である。

古川氏は、まず、タカラ創業者の佐藤安太氏が福島から大望を抱いて上京し、ビニール加工の零細企業からダツコちゃんを開発、大ヒットし、夢であった玩具

メーカーとなったことから、その後、リカちゃん人形の開発はタカラの名を不動のものとするが、さらに、多角化路線をとり、とくにチョコQは前の2つとともに大ロングセラーとなっている。この時期までのタカラの開発は、「遊びを創る」という社長のロマンの下に個性ある人材が集まって推進してきた結果である。その後、創業者は一大英断で世代交代を図り引退するが、ここで二代目社長の

掛けるなど、全国で多彩な音楽活動を展開し、後進の育成にも力を注いでいる。演奏会の構成は、午前と午後の2回公演。午前の部は「ふれあいコンサート」と題し、子供からお年を召した方々まで誰もが楽しめる曲目10余曲を演奏し、最後に「世界に一つだけの花」を合唱し、会場が一つになった。また、地元の高苑技術学院、高苑技術専門学校、高苑技術高等学校等、関係機関の方々にもご出演いただいた。共演は見て聴いて楽しいステージとなり、今後の吹奏楽のあり方を導く一つの標になったのではないだろうか。午後の部は「リクエスト

長男が取ったのが製品としての事業部制であった。これは、当時の流行の経営手法であったが事業部間の交流を欠く結果となりヒット製品に恵まれず、経営は危機に瀕する。そこで、創業者がいったん社長に復帰するが、世代間の意志の疎通が困難であることを悟り、2度目の大決断を行い兄弟経営路線で対立し、外で活躍していた若い次男を社長に招聘し、すべてを任せる。これが大成を収める。次世代ベテラン、マイク・体カラオケからバウリンガ体まで、ヒットはヒットを呼びタカラは好調を維持している。その成功の原因は、もちろん、高年齢を自覚し思い切った経営陣の若返り、環境問題を含めた消費者の立場に立ったチェック体制

る。しかし、本質は、若い社長のもと、ブレインストーム、さらにアイデアを纏め上げる手段としてKJ法などを導入し、連想、類似、組み合わせからアイデアを製品に纏め上げていく経営手法にある。それに、企画・実行・観察・評価のサイクルを繰り返して実行し、若い、優れた才能を引きだしている。若々しい経営システムにある。これらについて古川氏は具体的な製品を事例に

開発マイナード、発想法、ブレインストームとその実践について学ぶことが出来る。実際に多い講演会であった。(共連系 本木弘徳講師)

と力を入れて、苦労して多くの後援を得た。また、近隣の市町に自分達の力で、チラシを配ってまわった。最後に、後援会、工友会をはじめ関係各位にはこの場を借りて深く感謝すると共に、今後の吹奏楽団も温かく見守っていただきたい。

大学の授業内容を高校生によく知ってもらい、大学に對する理解を深めてもらうことを目的に、大学の教員が高校に出向いて行う、いわゆる「出前授業」(本書

では出張講義)が各大学と高校の間で活発に行われている。本学でも一昨年から始め、年々高校からの申し込みが増えている。出張講義は学生募集の一環という意味はもちろんあるが、それよりも若者の工学離れという風潮のなかで、工学の面白さ、楽しさを知ってもらうこと、あるいは高校生への進路選択の補助となることなどを主眼に助けているので、大学の宣伝臭がでないように注意を払っている。

今年度実施した出張講義は左表の通りであるが、高校からの申し込みをお待ちしている。(入試室)

講義名	講義者	高校名
住まい見聞録	建築学科 伊藤庸一教授	兵庫県立兵庫工業高校
ロボット工学	機械工学科 中里裕一助教授	山形県立寒河江工業高校
力の流れと安全	建築学科 白石一郎教授	茨城県立総和高校
どこでもコンピュータの向う側	情報工学科 石川 孝教授	埼玉県立浦和工業高校
デジタル画像処理	システム工学科 星野坦之教授	埼玉県立宮代高校
21世紀のキーテクノロジー	電気電子工学科 菅原和士教授	石川県立羽咋工業高校
半導体その1~6	電気電子工学科 岸 敬二教授	山梨県立甲府工業高校
身の回りのやさしい科学	システム工学科 原 利次教授	千葉県立東総工業高校
レーザーではじめるものづくり	機械工学科 宮澤 肇助教授	千葉県立東総工業高校
ナノテクノロジー	機械工学科 野口裕之講師	千葉県立東総工業高校
人造ダイヤモンド	電気電子工学科 石川 豊教授	千葉県立東総工業高校
光ファイバ通信のしくみ	電気電子工学科 山口義昭助教授	千葉県立東総工業高校
建物基礎と地盤	建築学科 桑原文夫教授	千葉県立東総工業高校
異文化を解きあかす	建築学科 伊藤庸一教授	千葉県立東総工業高校
インターネットの発展と応用技術	情報工学科 丹羽次郎助教授	千葉県立東総工業高校
どこでもコンピュータ	情報工学科 石川 孝教授	千葉県立東総工業高校

「台湾・高苑技術学院での出張講演」

台湾・高苑技術学院での出張講演。石川 孝 教務部長補佐、情報工学科教授。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。



吹奏楽団第20回記念定期演奏会では、ソプラノ歌手・持木文子氏の歌と、特別混声合唱団、それに吹奏楽団との共演という吹奏楽では稀な「合唱との共演」に挑戦、終始喝采をあげた。正面後姿が指揮者の山崎氏、左が持木氏。

山崎氏は、東京芸術大学大学院音楽研究科を修了し、新星日本交響楽団(現東フィル)等の奏者・指揮者を経て、現在では埼玉県の音楽監督を務める。また、2002年の「三大テノール・ラスト・コンサート」では、日本歌曲の編曲を手

午後には、高苑技術学院、高苑技術専門学校、高苑技術高等学校等、関係機関の方々にもご出演いただいた。共演は見て聴いて楽しいステージとなり、今後の吹奏楽のあり方を導く一つの標になったのではないだろうか。午後の部は「リクエスト

台湾・高苑技術学院での出張講演。石川 孝 教務部長補佐、情報工学科教授。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

11月24日、本学吹奏楽団の第20回記念定期演奏会が午前の部「ふれあいコンサート」、午後の部「リクエストコンサート」の2回公演で行われ、パライエティに富んだ選曲と演奏で客席を魅了した。

11月24日、春日部市民文化ホールにおいて開催された「日本工業大学吹奏楽団第20回記念定期演奏会」は、午前、午後とも満席になり、午後は入場制限するほどの大盛況であった。20回記念の今年は、指揮者の山崎氏のもと団員が一丸となり、その気合と努力はなみなみならぬものがあった。

午後には、高苑技術学院、高苑技術専門学校、高苑技術高等学校等、関係機関の方々にもご出演いただいた。共演は見て聴いて楽しいステージとなり、今後の吹奏楽のあり方を導く一つの標になったのではないだろうか。午後の部は「リクエスト

台湾・高苑技術学院での出張講演。石川 孝 教務部長補佐、情報工学科教授。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

高苑技術学院は、1986年に高苑工業専門学校(日本の高専のような学校)として設立され、1989年に短期大学として創立し、1999年に4年制大学として開校した。同学院は専門学校と社会人教育部を併設しており、現在の在学者は全体で約1万3千名のことである。

11月24日(祝)

春日部市民文化会館

華々しく開催された吹奏楽団第20回記念定期演奏会

コンサート」と題し、アンケイトによりカルメンやグレンミラー、童謡、坂本九の曲などバラエティに富んだ20余曲を選曲した。また、地元出身で多くのオペラやオーケストラとの共演・リサイタルなど幅広い活動を行っているソプラノ歌手の持木文子氏と特別混声合唱

団との共演という、吹奏楽では稀な「合唱との共演」に挑戦し、終始喝采を浴びた。さらに、感動のエピソードを「宮代おはなしの会「スウス」の方々に朗読していただき、ステージは更に盛り上がった。

団員たちは2年前から準備を始め、外部団体との交渉や宣伝活動には例年以上に力を入れて、苦労して多くの後援を得た。また、近隣の市町に自分達の力で、チラシを配ってまわった。

大学の授業内容を高校生によく知ってもらい、大学に對する理解を深めてもらうことを目的に、大学の教員が高校に出向いて行う、いわゆる「出前授業」(本書

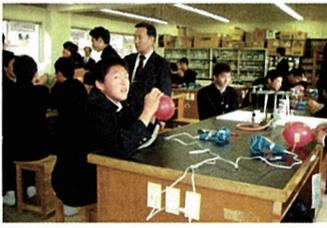
では出張講義)が各大学と高校の間で活発に行われている。本学でも一昨年から始め、年々高校からの申し込みが増えている。出張講義は学生募集の一環という意味はもちろんあるが、それよりも若者の工学離れという風潮のなかで、工学の面白さ、楽しさを知ってもらうこと、あるいは高校生への進路選択の補助となることなどを主眼に助けているので、大学の宣伝臭がでないように注意を払っている。

今年度実施した出張講義は左表の通りであるが、高校からの申し込みをお待ちしている。(入試室)

今年度実施した出張講義は左表の通りであるが、高校からの申し込みをお待ちしている。(入試室)

出前授業 繁盛記

出張講義は学生募集の一環という意味はもちろんあるが、それよりも若者の工学離れという風潮のなかで、工学の面白さ、楽しさを知ってもらうこと、あるいは高校生への進路選択の補助となることなどを主眼に助けているので、大学の宣伝臭がでないように注意を払っている。



東総工高で授業するシステム工学科・原教授

出張講義は学生募集の一環という意味はもちろんあるが、それよりも若者の工学離れという風潮のなかで、工学の面白さ、楽しさを知ってもらうこと、あるいは高校生への進路選択の補助となることなどを主眼に助けているので、大学の宣伝臭がでないように注意を払っている。

全国から158チームが出場 スターリングテクノラリー開催 今年も11月20日(土)本学で開催予定



大勢の参加者でにぎわう会場風景



ノーマルクラスに出場 吉田君(右)

自作のスターリングエンジンを搭載した車両で、スピードとアイデアを競う「第7回スターリングテクノラリー」が本学を会場に11月8日(土)開催された。

参加チームは158を数え、中高生、大学生、社会人など幅広い年齢層の参加者が技を競った。

このスターリングエンジンは、スコットランドの技術者であり牧師でもあったロバート・スターリングが1816年に発明したもので、温度の高低によって生じる気体の膨張・収縮をピストン運動に変えて動力を生む。低公害でクリーンなことから、ガソリンエンジンに代わるものとして見直されている。

競技は、①ノーマル(車体長さ600mm以下)、②ミニ(同180mm以下)、③人間乗車(同無制限)の各クラスで所定のコースを走る。

本学からは、システム工学科・原研究室からノーマルクラスと人間乗車クラスに出場した。ノーマルクラスに出場したのは機械工学科1年の吉田創君(世田谷工業卒)で、一般の部・参加25チームのうち、7位の成績をおさめた。

人間乗車クラスに参加したのは機械工学科1年・中村優君(春日部工業卒)、同学科2年・熊谷章君(勿来工業卒)、システム工学科4年の相川渡君(栃木工業卒)と野寄達也君(行田工業卒)の4人。夏頃から車両の設計やエンジンの開発に打ち込んできた。車両の特長は車体に発泡スチロールや硬質ウレタン樹脂などを使い、軽量化を図ったこと。しかし、スタート直前のエンジントラブルで、涙をのんだ。

今年も11月20日(土)に本学で開催する運びとなっている。

学生自治会中央執行委員会委員長就任あいさつ

これからの学生自治会は 前へ前へ出て行くものになりたい

システム工学科3年 後藤 勇輝
(狭山工業高等学校出身)



明けましておめでとうございませう。新しい年を迎え、皆さんそれぞれ胸に希望と目標をもっておられることかと思ひます。私も中央執行委員長という責任ある役職に就き、この1年を豊かな実りあるものにしていきたくと思ひております。私が日本工業大学に入學してから、もうすぐ3年が

たどつてきています。この3年間は、大変中身のつまつた充実したものでした。入学した頃、「大学に入ったから、とにかく何かしよう」と心に決め、数ある委員会・部活動の中から中央執行委員会に入りました。頑張つていこうと思つた心は今も変わらず、充実した大学生生活においてとても重要なことだつたと感じています。歴代の委員長の下、様々な経験をj得て、多くの仲間として親友といえる友人と巡り合えたことで、「入学した頃より少しは成長できたかな」と感じています。

中央執行委員長になって以来、私は「これからの学生自治会は前へ前へ出て行くものにしてほしい」と言つてきました。これは私達学生自治会の活動をさらによく知つてもらい、今後大きく成長していくために必要なことだと思つてからです。学生自治会は大変個性的な学生が多いのですが、彼らの個性をうまく束ねて伸ばしていくことができれば強力な原動力になるでしょう。これは、やりがいのあることだと思ひます。私にとって、この1年は、めまぐるしいものとなるで

しょう。多くの人と会い、語り学ぶ。今まで知らなかつた発見も数多く経験することでしょう。歴代の委員長から引き継いだ伝統と想いを暖めつつ、4年後に控えている学園創立100周年へむけて、新しい風を少しずつ学生自治会に吹かせていければいいと思ひています。

最後に、学生全員のキャンパスライフの充実を目指すという目標の達成には皆さんの協力が不可欠です。これからの学生自治会を注目していただき、

工業技術博物館

『暮らしの中で活躍する針』の特別展を開催

工業技術博物館では、平成15年度の特別展として『暮らしの中で活躍する針』を、昔から人間生活を支えてきた針の歴史と生産技術について明らかにします。

に、埼玉県立博物館所蔵の埼玉県秩父郡大滝村の神庭洞窟より発掘された骨製の針、オルガン針株式会



岡田氏に手話を教える学生達



熱心に展示に見入る学生達



特別展入口

蔵の竹製ミシン針、株式会社オテーデオテクニカ取締役会長・松下秀雄様所蔵の蓄音機針コレクションなど、世界の超音波を利用したスムーズに腹部に穿刺する最新の針であり、本特別展に展示も行った。また、平成15年度日刊工業新聞社の機械工業デザイン賞を受賞している。

第35回 若杉祭開催される

11月1日・2日・3日 盛り沢山の行事で大盛況

第35回を迎えた若杉祭。1日のオープニングセレモニーから始まって、2日はホームカミングデーや「winds」のコンサート、3日は建築コンペの表彰式など、連日盛り沢山の行事で賑わった。

今年の新しい試みは東武動物公園駅と大学との間にシャトルバスを運行したこと。利用者は3日間で1,000人を超えた。また、ほぼ全ての模擬店で「リサイクル容器(環境循環型食品容器)」を使用したのも、

環境重視の本学らしい取り組みだ。2日のホームカミングデーは、卒業後30年、20年、10年のOBや旧教職員、合わせて142名が参加、過去最高の参加者を迎えた。今年は家族連れも多く和やかな雰囲気。

3日の建築コンペ表彰式には、全国から優秀な成績をあげた高校生、14人が参集。うち8人が女性で、審査員の先生から驚きの声も。後夜祭では、百発の花火が打ち上げられ、今年の若杉祭も無事に幕を閉じた。



若杉祭 屋外ステージで



屋内ではライブ演奏も



建築学科の展示に子供たちも興味津々



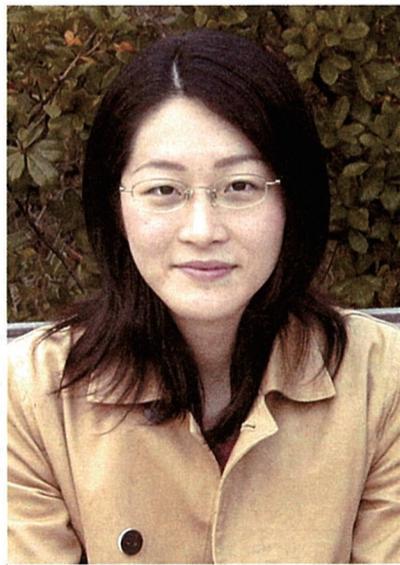
ホームカミングデーの懇親会にはOB・OG・旧職員を合わせ215名が参加した

STUDENT FACE★'04

日本工業大学工友会では、在籍する学生を支援するため、十年近く前から独自の奨学金事業実現に向けての取り組みが進められていた。そして、昨年七月に「日本工業大学工友会奨学金」が新設された。そもそも、奨学金には大きく分けて、そのまもらえるもの(公給付)と、返さなければならぬもの(貸与)の二種類がある。ちなみに、工友会奨学金は給付である。今回の採用枠は十人で、採用される一年間十二万円の奨学金が給付される。採用要件には「人物・学業ともに優れた者」といった一般的なもののほかに、「卒業後工友会会員として積極的に活動す

ること」と記されている。工友会が会員と日本工業大学の発展を目的としていることを考えれば、この奨学金の採用者は、卒業後も母校のために活動していくことを求められていると言つて良い。

した。中学生の頃に、建築の勉強をしたいと思ひ工業高校の建築科に進んだ。大学には、一年次から専門(建築学)の勉強ができるという理由で、本学を志望した。大学の生活は、一年が育英会奨学金を受けている。アルバイト代で生活し、若干の蓄えもできた。ちなみに、日本育英会奨学金は返還しなければならぬ。現在、本学学生の約千四百人が採用されている。これは、集中したいという理由からアルバイトも止めて、工友会奨学金は生活費に充てている。彼女のように、奨学金を生活費として使う学生は決して少なくない。日本私立大学連盟の調査によると、アルバイト、仕送りなどで私大生が一月に得る「平均収入」は、四年前の前回調査より約一割減つた。その一方で、奨学金の受給者は、全体の二割から三割に増加している。昨今、学生の経済的負担を軽減しようと、日本全国の私立大学が動き始めている。日本工業大学でも、工友会奨学金を契機にひとりでも多くの学生を支援していけるよう給付奨学金が設立されることを期待したい。



星野景子さん
建築学科4年
(新潟工業高等学校出身)

工友会奨学金で、建築の卒研に集中

建築学科四年の星野景子さんも、今回の工友会奨学金に応募し採用された一人である。星野さんの場合は、卒研担当教員である伊藤庸一教授から応募してみてもいいと言われ、建築学科の掲示板で募集要項を確認し応募

それほど生活費もかからなかつた。しかし、二年次から予想以上の出費に驚いた。ひとり暮らしの難しさは、普段から電話でも何とかならぬところが、とても仲の良い振り返る。そして、三年次までは日本育英会奨学金と

この春からは、建築関係への就職が決まつて、進路相談に限らず、母親とは普段から電話でも何とかならぬところが、とても仲の良い振り返る。そして、三年次までは日本育英会奨学金と

ISO14001に対する次のステップへ エコ・ミュージアム化構想等を推進

本学の環境管理活動は第1次中期計画（平成12年10月～平成15年9月）を終了し、昨年10月より、第2次中期計画（平成15年10月～18年9月）の実践に入った。第1次における実践成果と、第2次の重点施策について概略を述べる。

この3年間、教職員、学生、学内関連機関が一体となって環境管理活動を推進してきた。その結果、エネルギー・資源等では、3か年の累計で平成11年度比、電力三・七％、ガス四七・五％、水六二・一％、紙四三・八％を削減し、環境目的・目標を大幅に超える達成を果たした。



学生EMSとの連携を拡充（EMS推進協議会より）

環境教育では、環境関連科目の充実が図られ、学生の環境マインドの向上に大きく寄与。研究においては、学科、教職員、学生の枠を超え、知力と情熱を結集して取り組める研究制度が整備されている。

環境教育では、環境関連科目の充実が図られ、学生の環境マインドの向上に大きく寄与。研究においては、学科、教職員、学生の枠を超え、知力と情熱を結集して取り組める研究制度が整備されている。

第1次の成果とマインドを維持継続すると共に、第2次中期計画では大きく次の3点に重点をおいて環境管理活動を推進していきたいと考えている。第1は環境エコ・ミュージアム化構想等、今後の環境管理活動に具体的に反映させることである。第2は、環境教育を推進していく。これは学生や市民が、学科や地域を超えて本学の環境関連システムや設備、また研究成果等が環境に及ぼす影響等に自ら接し、体験して環境への理解、マインドを学ぶ育てることである。このプロジェクトには、全ての教員の専門にたつた参画をいただきたいと考えている。特に本学が推進しているニューエネルギー開発の新たな

テーマとして地域と連携したバイオマスプロジェクト等への教員、学生の参加を期待している。第2はこれと深く関連するが、学生のE.M.Sとの積極的連携であり、これが最大の使命、責務であると考えている。

さまざまな面で大きな成果を収めてきたが、それを発展させ、キャンパス自体のエコ・ミュージアム化による体験的環境教育を推進していく。これは学生や市民が、学科や地域を超えて本学の環境関連システムや設備、また研究成果等が環境に及ぼす影響等に自ら接し、体験して環境への理解、マインドを学ぶ育てることである。このプロジェクトには、全ての教員の専門にたつた参画をいただきたいと考えている。特に本学が推進しているニューエネルギー開発の新たな

さらに安全の視点を重点に置き、広い範囲の環境・安全、将来的には安全管理体制の確立に向けた常置委員会の設置をめざしていきたい。

トントタッチされた後藤勇輝君は、「今まで各委員会の力を集めてきましたが、今後は、完全に独立した、しっかりとした委員会づくりを目標とします」と力強く抱負を語ってくれた。

今年も、組織の充実及び新たな取組みの企画・実施を通して、より一層の活躍が期待される。

あけましておめでとうございませう。皆様には、健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

▼昨年は、毎日のように事件や事故などの出来事が相次ぎ、慌ただしさと混迷を極めた1年でした。そんな先行きの見えない渾沌とした今日にあっては、宮代町のまちづくりが、着実に実を結んでいます。その1つが、昨年末制定された市民参加条例です。この条例により、従来の行政主導型から、真に町民が主役となり、町民による、町民のためのまちづくりを進める仕組みが完成し、宮代町の新しい村にバイオマス発電所が完成し、実験は新たな段階に入っています。今はまだ小さなこの活動が、やがて実を結び、宮代町に新たな価値が生まれる日が来るのを期待して止みません。

▼2004年も、「優しさ」というまちづくりのコンセプトを守りつつ、効率化とのバランスを保ちながら、さらに魅力ある町を目指し、宮代町は皆様と共に歩み続けます。（宮代町総務課職員K）

Town & Campus 市民参加条例制定

宮代町はまたひとつ、魅力的な町となったわけですが、このほか、昨年来より日本工業大学、町内商工業者、宮代町が

文科省、NEDDOの補助金と学内工事

文科省関係の補助として、平成15年度私立学校施設整備費補助金の交付が決定した。今回決定を受けたのは、既に産学連携研究推進事業として選定を受けていたファイナンシングセンター関連の施設および設備に対する補助と、バリアフリー推進事業である。また、NEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）からは、風力発電設備導入事業の補助決定を受けた。

文科省関係の補助として、平成15年度私立学校施設整備費補助金の交付が決定した。今回決定を受けたのは、既に産学連携研究推進事業として選定を受けていたファイナンシングセンター関連の施設および設備に対する補助と、バリアフリー推進事業である。また、NEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）からは、風力発電設備導入事業の補助決定を受けた。

明けておめでとうございます。本年は申年。不幸・不運が「去る」ということで福を招く縁起が良い年だそう。国内外とも多難な時に歓迎すべき素晴らしい年を期待したいものです。

12月20日付けで新学長に柳澤 章教授、教務部長が就任しました。大学としての力量が真に問われている時に、新学長のもと、さらに教職員一丸となり進んでいく年になります。18歳人口が減少する中、4月からは国立大学が運営組織等を強化し、競争力を持ちながら独立行政法人化されます。また、国の統合規制改革会議により進められてきた構造改革特区において日本初の株式会社による学校設置が実現されるはず。このように本学を取り囲むさまざまな変化がありますが、自己点検・評価の結果を着実に実践することにより、本学の良さを理解してもらおう努力をしたいと思います。新年にあたり決意するところです。（F）

国際交流ニュース スペインおよび中国から

昨年11月6日、スペイン文部省研究教育文書技術相談役であるグレゴリオ・ゴンザレス氏が本学を訪問した。

ユールの中、本学の実験施設を熱心に視察し、神馬敬一前学長と技術教育や学術交流のあり方などについて積極的な意見交換を行った。昼食時には、本学学生と積極的にコミュニケーションを図った。また12月1日には、中国

の青島建築工程学院・胡培基副学長ほか一行5名が本学を訪問。

伊藤庸一・建築学科教授が同学院の客員教授を務め、一行の孫旭光副教授が本学建築学専攻修了生であった縁から、今回の訪問が実現。神馬前学長との懇談のほか、本学実験施設や、宮代町内の進修館や等原小学校を視察した。

伊藤庸一・建築学科教授が同学院の客員教授を務め、一行の孫旭光副教授が本学建築学専攻修了生であった縁から、今回の訪問が実現。神馬前学長との懇談のほか、本学実験施設や、宮代町内の進修館や等原小学校を視察した。

伊藤庸一・建築学科教授が同学院の客員教授を務め、一行の孫旭光副教授が本学建築学専攻修了生であった縁から、今回の訪問が実現。神馬前学長との懇談のほか、本学実験施設や、宮代町内の進修館や等原小学校を視察した。

同氏は科学技術の調査研究を担当する要職にあり、我が国の技術教育を視察するため来日。多忙なスケジュールのため、中国

の青島建築工程学院・胡培基副学長ほか一行5名が本学を訪問。

伊藤庸一・建築学科教授が同学院の客員教授を務め、一行の孫旭光副教授が本学建築学専攻修了生であった縁から、今回の訪問が実現。神馬前学長との懇談のほか、本学実験施設や、宮代町内の進修館や等原小学校を視察した。

伊藤庸一・建築学科教授が同学院の客員教授を務め、一行の孫旭光副教授が本学建築学専攻修了生であった縁から、今回の訪問が実現。神馬前学長との懇談のほか、本学実験施設や、宮代町内の進修館や等原小学校を視察した。

伊藤庸一・建築学科教授が同学院の客員教授を務め、一行の孫旭光副教授が本学建築学専攻修了生であった縁から、今回の訪問が実現。神馬前学長との懇談のほか、本学実験施設や、宮代町内の進修館や等原小学校を視察した。

大木吉甫名誉教授に 教育功労勲章オフィシエ章

本学の名誉教授である大木吉甫先生に、教育功労勲章オフィシエ章が授けられた。授けられたのは、昨年11月、フランス共和国文部大臣より教育功労勲章オフィシエ章を受章した。同章はフランス語教育やフランスの学術研究を積

本学の名誉教授である大木吉甫先生に、教育功労勲章オフィシエ章が授けられた。授けられたのは、昨年11月、フランス共和国文部大臣より教育功労勲章オフィシエ章を受章した。同章はフランス語教育やフランスの学術研究を積

本学の名誉教授である大木吉甫先生に、教育功労勲章オフィシエ章が授けられた。授けられたのは、昨年11月、フランス共和国文部大臣より教育功労勲章オフィシエ章を受章した。同章はフランス語教育やフランスの学術研究を積

本学の名誉教授である大木吉甫先生に、教育功労勲章オフィシエ章が授けられた。授けられたのは、昨年11月、フランス共和国文部大臣より教育功労勲章オフィシエ章を受章した。同章はフランス語教育やフランスの学術研究を積



本学の名誉教授である大木吉甫先生に、教育功労勲章オフィシエ章が授けられた。授けられたのは、昨年11月、フランス共和国文部大臣より教育功労勲章オフィシエ章を受章した。同章はフランス語教育やフランスの学術研究を積

本学の名誉教授である大木吉甫先生に、教育功労勲章オフィシエ章が授けられた。授けられたのは、昨年11月、フランス共和国文部大臣より教育功労勲章オフィシエ章を受章した。同章はフランス語教育やフランスの学術研究を積

本学の名誉教授である大木吉甫先生に、教育功労勲章オフィシエ章が授けられた。授けられたのは、昨年11月、フランス共和国文部大臣より教育功労勲章オフィシエ章を受章した。同章はフランス語教育やフランスの学術研究を積

本学の名誉教授である大木吉甫先生に、教育功労勲章オフィシエ章が授けられた。授けられたのは、昨年11月、フランス共和国文部大臣より教育功労勲章オフィシエ章を受章した。同章はフランス語教育やフランスの学術研究を積

本学の名誉教授である大木吉甫先生に、教育功労勲章オフィシエ章が授けられた。授けられたのは、昨年11月、フランス共和国文部大臣より教育功労勲章オフィシエ章を受章した。同章はフランス語教育やフランスの学術研究を積

国外出張（9月～10月）

- ◆横谷真一郎教授（機械工学）／出張先：中国（9/25）／目的：宝山鉄鋼にて招待講演と討論
- ◆上野貴博助手（電気実験研究センター）／出張先：米国（9/6～9/14）／目的：49th IEEE HOLM Conference on Electrical Contacts 2003にて論文発表
- ◆波多野純教授（建築学科）／出張先：カナダ（9/10～9/18）／目的：日本工業大学カナダ研修所に関する周辺整備計画の打合せとカナダ研修所及びLCCにおける授業
- ◆渡辺勝彦教授（建築学科）／出張先：ドイツ（9/12～9/19）／目的：環境保全に取り組む近代建築再生の事例研究日欧の比較「ドイツ調査」
- ◆小倉勝（機械工学科）／出張先：米国（9/15～9/23）／目的：Small Engine Technology Conferenceの発表
- ◆松本勇一郎課長（教務部入試室）／出張先：韓国（9/18～9/22）／目的：日本留学フェア（日本国際教育協会）出席
- ◆片山茂友教授（情報工学科）／出張先：中国（9/18～9/27）／目的：中国に於ける電子部品製造と車載用マイコン研究の現状調査
- ◆矢野正行教授（情報工学科）／出張先：マレーシア（9/20～9/26）／目的：国際会議APCC:Asia-Pacific Conference on Communications出席
- ◆中村洋一教授（システム工学科）／出張先：米国（9/24～10/5）／目的：デジタルプリンティングの国際会議NIP19への出席と論文発表
- ◆北久保茂講師（システム工学科）／出張先：米国（9/28～10/5）／目的：NIP19:第19回デジタルプリンティング国際会議の論文発表
- ◆星野垣之教授（システム工学科）／出張先：米国（9/27～10/5）／目的：第19回デジタルプリンティング国際会議での論文発表とアドバイザリコミッティー
- ◆渡辺康夫教授（電気電子工学科）／出張先：ドイツ（9/28～10/3）／目的：国際レーダーシンポジウム（IRS03）における研究成果の発表及び技術資料の収集
- ◆市橋重勝教授（建築学科）／出張先：米国（9/27～10/4）／目的：主主催の構造物のアンカーの設計に関する国際標準化定会議に出席
- ◆鈴木敏正教授（システム工学科）／出張先：米国（9/28～10/5）／目的：8th Wide-Bandgap Nitride Workshopにおける研究発表及びLEDにおける装置研究・ディスカッション
- ◆正道寺勉助教授（システム工学科）／出張先：米国（9/28～10/5）／目的：The Society for Imaging Science and Technology主催のNIP19 International Conference on Digital Printing Technologiesにて研究論文の発表、並びに座長
- ◆船橋昭一教授（共通系）／出張先：カナダ（10/24～11/1）／目的：英語で学ぶ数学支援授業
- ◆横谷真一郎教授（機械工学科）／出張先：中国（10/26～

明けておめでとうございます。本年は申年。不幸・不運が「去る」ということで福を招く縁起が良い年だそう。国内外とも多難な時に歓迎すべき素晴らしい年を期待したいものです。

12月20日付けで新学長に柳澤 章教授、教務部長が就任しました。大学としての力量が真に問われている時に、新学長のもと、さらに教職員一丸となり進んでいく年になります。18歳人口が減少する中、4月からは国立大学が運営組織等を強化し、競争力を持ちながら独立行政法人化されます。また、国の統合規制改革会議により進められてきた構造改革特区において日本初の株式会社による学校設置が実現されるはず。このように本学を取り囲むさまざまな変化がありますが、自己点検・評価の結果を着実に実践することにより、本学の良さを理解してもらおう努力をしたいと思います。新年にあたり決意するところです。（F）